

旧秋元小学校複合整備地域準備会 まとめ
～未来へつなげるバトン～



2021(令和3)年12月

旧秋元小学校複合整備地域準備会

目 次

1	はじめに ～地域準備会とは～	1
2	取り組んできたこと	1
3	各グループでの検討	2
4	地域活性化機能	4
	(1) 地域支え合い機能 (2) つながる機能	
	(3) 学び・育ち・健康機能 (4) 地域振興機能	
	(5) 飲食機能 (6) 販売機能	
	(7) 呼び込み機能（観光・体験） (8) 歴史文化振興機能	
	(9) ものづくり機能 (10) しごと場機能	
	(11) 移住定住促進 (12) 情報発信・地域プロモーション機能	
5	新たな地域組織と地域活動連携	8
資料編		
1	地域準備会 協議・検討の経過	9
2	計画シート	13
3	地域組織立ち上げに向けて	35
	「設立趣意書」「規約（案）抜粋」	

Ⅰ はじめに ～地域準備会とは～

私たちは、今後、旧秋元小学校を拠点に取り組まれる地域活性化に向けた様々な事業を具体化し、その運営を考えていく為、市の呼びかけにより集まった、地域団体代表者、地区住民有志、市内外の NPO 法人や民間事業者（合計 36 組 42 名）によって構成した会です。

令和 3 年 3 月から 12 月までの期間で、書面開催 2 回を含む 11 回の会議を重ねてきました。また、「運営チーム」（いわゆる幹事会）やテーマ別の「グループ」を組織し、少人数での打合せ、オンライン会議、SNS を活用した意見交換にも取り組んできました。

これまでの議論の結果を整理し、今後の方向性を確認するため、清和の未来へつなげるバトンとして、この「まとめ」を作成しました。

2 取り組んできたこと

〔議論の方向性〕

市の提示する「持続可能な地域づくり」「人がつどい、にぎわいが生まれる、持続可能な新たな地域の拠点」の具現化を図る。

〔私たちの議論のゴール設定〕

- ①複合整備された施設を拠点に、実際に行われる取組(事業・活動など)の内容の方向性を決めること
- ②実際に動く組織の方向性を決めること

今回の複合整備で、新しい地域の拠点には、清和公民館、清和行政センター、清和保育園、避難所の【行政機能】と、地域の交流や活性化を促進し、様々な地域の課題にアプローチし、清和を盛り上げていく【地域活力創造機能】の 2 つが導入される見込みです。



私たちは、この地域活力創造機能の部分について主に議論してきました。

その中で、清和地区の人口減少とそれに伴う様々な暮らしの課題に向けて、清和に住み続けたい、行ってみたい、住んでみたいと思える地域をつくるには、どのような取組が必要か、その取組の実現性や継続性をどのように考えるかなどを検討してきました。

議論の経過については、資料 1（9 ページ）に掲載してあります。

3 各グループでの検討

新たに整備される施設を拠点に活動する企画・活動について、6月以降、テーマ別のグループにわかれ、検討してきました。

約半年間、協議やプレ開催などを実施し、地域準備会終了時点での計画や検討結果をまとめました。

詳細は、資料2（13ページ）をご覧ください。

今後、これらの企画の実現に向けて、さらに検討や準備を進めていく予定です。

グループ名	企画名・概要
飲食・販売グループ	①清和マルシェ改め清和てづくりマーケット 野菜、花類、加工食品、手作り品などを販売するマルシェ(市場)
	②キッチンカー・フードトラック招致 キッチンカーやフードトラックを募り、土日祝日、およびイベント時に出店をしてもらう。
	③レンタルロッカーショップ 教室のロッカーを活用したレンタルBOX型委託ショップ。販売のベースは手作り品(衣類・雑貨など)
	④井戸端カフェ（事業者への要望として） 地域住民の需要に答えた「立ち寄りやすい価格帯の」「また行きたくなるメニューの」「行けば誰かに会える」飲食
観光・文化・歴史グループ	⑤君津の朝飯 週末の朝の時間帯に、屋外で、ここでしか食べられない非日常的な田舎の朝ごはんを体験
	⑥鹿野山サイクリングの拠点 鹿野山を中心に南房総を走っているサイクリストにとって魅力のある拠点（駐車場、洗車、休憩）としていく
	⑦清和の伝統・文化ボードゲーム制作 地区の小中学生の参加を募り、塾形式で清和の伝統や文化、清和に伝わる昔話を題材にボードゲームを制作し、販売する。
	⑧清和の観光マップ 一教室の黒板に手書きのマップを設置する。また、観光マップ（携帯版）を制作し、清和の観光情報を発信する。
	⑨無形民俗文化財の映像化及び展示 清和地区に現存する6つの無形民俗文化財について、紹介映像を作成・上映するとともに、各種関連資料の展示を行う。
健康福祉、多世代交流、学び、子どもグループ	⑩地域で育む放課後こども教室 地域の小学生を中心に、放課後の子どもの居場所づくり、地域の方を講師とした放課後子ども教室を実施。

	⑪清和おしゃべりサロン・郷の教室 おしゃべりサロンを開催。また、サロン活動を発展させて、郷の教室（カルチャースクール）を実施。
オフィス空間・ものづくりグループ	⑫清和ものづくりマイスター 清和在住のものづくりを得意とする方に登録いただき、依頼があった時に紹介。将来的にはイベント、ワークショップ、カルチャー教室など実施。
	⑬キミツノキ プロジェクト 林業体験と切り倒した木材を活用した製品開発。ブランディング。
	⑭清和 ICT クラブ 小中学生を対象にデジタル工作機器を使ったものづくりの学習を行う。
	⑮郷の図工室を活用した起業やブランディング、アーティスト活動の支援 郷の図工室の機能を活用し、ものづくりのアイデアで起業やブランディング及び若手アーティストの活動支援の場を創出。
	⑯共に創る郷の図工室とアートフィールド アートフィールドの制作などを通して進化する・変化する遊び場を創る。学生やアーティスト、事業者、地域住民が協力して創り出す。
	⑰まちの図書館 足を運んだ人に向けて自分をPRし、本を通した共通の嗜好から人を知るような魅力あふれる人材を紹介できる空間とする。
農林業グループ	⑱わくわく体験(稲作・畑作) 稲作：年間を通してもち米、古代米の栽培を体験する。 畑作：一区画(15㎡)で年間を通し、野菜作りを体験する。
	⑲トラック市 農産物や加工食品、手づくり品等を対象にトラック荷台を売り場にして販売する。
移住促進・空き家利用グループ	⑳清和空き家バンク 空き家情報を積極的に収集、データ化し、移住希望者へ情報提供を行う仕組みを構築する。
	㉑移住コンシェルジュ 空き家を売りたい人、貸したい人と、空き家を買いたい人、借りたい人とのマッチングを行う。
	㉒田舎暮らし宿泊体験 空き家等を活用した宿泊体験の仕組みを構築する。

4 地域活性化機能

各グループでの検討による企画も含め、旧秋元小学校を拠点とする取組(事業・活動)の将来的なイメージを次のように考えました。

私たちは、
新しい「**清和の拠点**」での
こんな将来を考えています！

旧秋元小学校複合整備地域準備会

地域の支え合い 地域の方の「お困りごと」サポート いろいろな地域団体の事務サポート	つながる 地域外からの利用者と地域との コーディネート
学び・育ち・健康 各種のカルチャー教室 放課後こども教室 高齢者の健康増進	地域の振興 清和地区や地域活動のプロモーション 清和のモノや魅力をインターネット発信
地域への呼び込み(観光・体験) 清和体験ウォーク サイクリストの拠点 稲作栽培体験や貸農園	歴史文化振興 観光マップづくり 清和の伝統・文化ボードゲーム製作
ものづくり 清和のものづくりマイスター制度 各種のものづくり教室 郷の図工室	しごと場 レンタルオフィスやコワーキングスペース でのテレワーク、起業など各種セミナー
飲食・憩い カフェスタイルの飲食 キッチンカー・フードトラックの呼び込み	販売 地域産のモノを販売 マルシェ トラック市 レンタルロッカーショップ
移住定住促進 清和版の空き家バンク 移住コンシェルジュ	情報発信地域プロモーション HPとSNSでの情報発信 広報誌の発行

中間報告での配布チラシより抜粋

(1) 地域支え合い機能

地域社会の持続可能性に向けて、地域や暮らしの課題に対して「支え合い」の考え方でアプローチする。

草刈りや電球交換、買い物など、高齢世帯のちょっとした「お困りごと」のサポートや、役員の担い手不足による地域活動の停滞を防ぐため、地域内の各種団体の事務をサポートする取組など。

(2) つながる機能

施設利用者同士のつながりや、施設利用者と地域とのつながりをつくることで、人を介した清和の活性化を図る。

地域各種団体、施設を定期的に使っている団体、特に地域外からレンタルオフィス・コワーキングスペース・郷の図工室などを利用している方に呼びかけを行い、情報交換の機会を設ける。

(3) 学び・育ち・健康機能

「学び舎」であった施設の経緯を活かし、子どもから大人までの幅広い年代層の「学び・育ち・健康」に焦点をあて、各種事業に取り組む。

清和地区の主に大人を対象にしたカルチャー教室や、放課後の子ども対象に宿題や遊び、体験教室などを実施する活動、高齢者の健康増進活動など。

(4) 地域振興機能

清和地区内の各種の団体活動を支援するとともに、個人・組織を問わない経済活動との連携や、事業支援を図る。

清和地区各地で展開される地域活動やイベントに対し、HPやSNSを通じた一括してのプロモーション、受付代行や取り次ぎ、情報提供などを行う地域企画サポート事業や、地区内の個人・団体・事業者から出品を募り、一括したECサイトで販売を行う清和産品のオンラインショップなど。

(5) 飲食機能

地域住民のコミュニケーションの場、施設利用者の利便性向上、来訪者や観光客の立ち寄りの呼び込みの場として運営を図る。

地元野菜などを活用し、テイクアウト・総菜販売も行うカフェスタイルの店舗や、キッチンカー・フードトラックの招致など。

(6) 販売機能

清和の地域資源や魅力を活かした事業展開を行い、地域全体の利益につながることを考慮して取り組む。

地域産の農作物やパン、総菜、加工食品、施設関連品を販売するコーナーの設置や、教室のロッカーを再利用し、区画単位で貸出す個人販売するショップ、イベント開催と合わせたマルシェやトラック市などの実施など。

(7) 呼び込み機能（観光・体験）

清和の「人」の魅力や、自然・文化などの地域資源を活用し、清和の魅力を伝え、交流人口から関係人口へ、そして将来的には定住人口につながるよう、地域外の人と清和の出会いの創出を図る。

清和の年中行事、作業、風習など「コト」を体験できる清和体験ウォークや、季節限定や週末に君津(清和)ならではの朝飯を屋外でつくり販売、サイクリングの拠点化、施設周辺や清和地区内の田畑を活用した稲作栽培や農園など。

(8) 歴史文化振興機能

清和地区の歴史・文化の継承を支援する。また外部への魅力発信に取り組むことで、清和に関心を寄せる人の増加を図る。

清和の観光マップづくりや、無形民俗文化財の情報発信への協力、清和の伝統・文化・昔話などを題材にしたボードゲームの製作など。

(9) ものづくり機能

地域の伝統的なものづくり、ハンドメイド作品、ICT 技術を活用したものづくりの活動を組み合わせることにより、伝統技術の継承、ものづくりを介したコミュニティづくりや、自分でつくったものを、使う・売る・共有することを通した新しい地域の魅力発信や個人ビジネス展開を支援する。

清和のものづくりについての技術を持つ方の情報収集や、施設を活用した各種のものづくり教室、ICT 技術を活用した体験など。

(10) しごと場機能

整備されるコワーキングスペース・レンタルオフィス及びシェアキッチン等を、住民の多様な働き方が実現できる場、大都市圏から適度な距離にある中山間地の特性を活かした外からの流れを呼び込む場として活用し、地域に「活力」「アイデア」「経済」の効果をもたらす。

各施設を活用した起業などの各種セミナーや地域連携の取組など。

(11) 移住定住促進

清和地区の最大の課題である人口減少への対策の一つとして、清和地区に関心を持ってくれた方が少しでも清和に住み、暮らしやすくなるよう、地域のネットワークや生活との距離の近さを活かした各種事業に取り組む。

市の行っている空き家バンクを補完する取組として、清和地区内の空き家についての情報収集と発信や、移住希望者の要望に合わせ、地域での暮らしの情報案内、先行移住者の紹介などを行う取組など。

(12) 情報発信・地域プロモーション機能

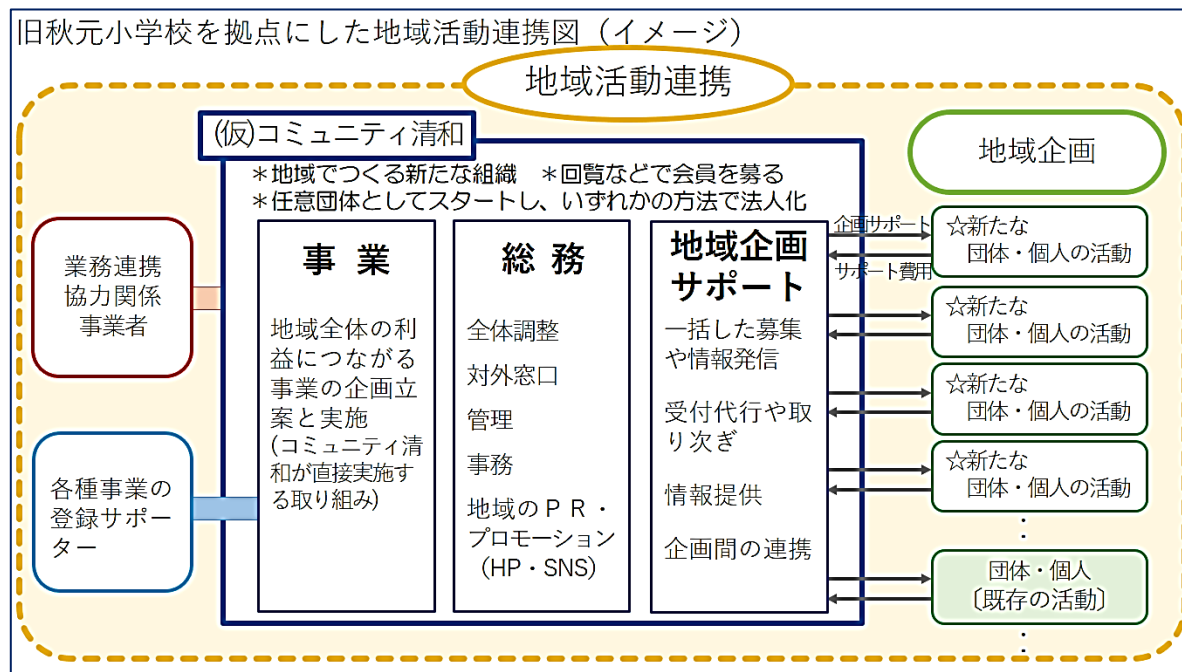
各種の取組の周知とともに、清和地区そのものの魅力を情報発信する。また、コロナ禍による価値観の変化を受け、集わずとも情報が得られ、必要な情報を基に目的（ゴール）を持って物事に取り組むことのできる地域コミュニティの向上を図る。

ホームページ・SNSによる情報発信や、広報紙の発行など。

5 新たな地域組織と地域活動連携

(1) 地域活動連携

旧秋元小学校を拠点に活動する地域組織と、上記の各種の取組や既存の地域活動も含めて、「地域活動連携図」としてイメージしました。



地域組織の名称は、仮称で「コミュニティ清和」としてあります。（仮）コミュニティ清和では、各種の事業、総務的な業務、地域企画のサポートを担います。清和で行われる色々な取組を、ひとつの「大きな括り」としていくことで、効果を高めることを目指したいと考えています。また、「組織」の利益だけではなく、「地域全体」の利益につながる仕組みづくりに取り組む考えです。

これまで地域準備会で議論してきたことを基に、旧秋元小学校を清和の活性化や課題解決に向けた様々な取組と、その組織連携の拠点にしていこうと考えています。

(2) 地域組織の立ち上げに向けて

地域準備会メンバーの有志により、新たな地域組織の立ち上げに向けて「発起人会」を組織しました。今後は、各企画担当との相談や地域準備会での議論を踏まえた事業計画案づくり、設立趣意書（資料3（35ページ））を用いた清和地区の皆さんへの会員募集などを行い、令和4年4月の設立総会開催を目指します。

なお、まずは任意団体としてスタートさせます。いずれは何かしらの方法で法人化し、事業者とも連携しながら、施設の管理運営にも参画していきたいと考えています。

資料編

資料1 地域準備会 協議・検討の経過

第1回

3月29日

参加：31組（36名）

- ・市長あいさつ
- ・〔説明〕これまでの経緯・基本構想
- ・〔説明〕「地域準備会」の目的と今後のイメージ
- ・出席者全員から：イメージしていること・期待していること
- ・今後に向けて（意見交換）



第2回

4月6日

参加：27組（31名）

- ・導入する機能の検討（1）全体検討（2）宿泊機能（3）飲食機能
- ・準備会の進め方などについて



第3回

4月20日

参加：24組（27名）

- ・飲食機能について
- ・「地域準備会」の目的の確認と今後の展開
- ・〔グループワーク〕テーマやイメージの具体化に向けて（具体的な取組）
- ・会議終了後：校庭にキャンドル（参加者からの提案により、これからの校舎活用に向けたイメージづくりとして）





第4回

5月20日

参加：24組（27名）

- ・〔説明〕（基本計画より）計画イメージ及び施設配置イメージ
- ・〔学習会〕「じぶん達サイズのまちづかい（づくり）でまちに関わる。」／おきな まさひと さん（まちびと会社 ビジョナリアル 共同代表）
- ・〔グループ協議〕今後の取組について



第5回

6月24日

参加：23組（26名）

- ・運営チームからの報告
- ・〔ワーク〕分野別の表（模造紙）に、自分の関心やアイデア・考えをフセンに書いて貼る
- ・〔グループ協議〕具体的に計画するもの、した方がよいもの



第6回

7月15日

参加：23組（25名）

- ・〔説明〕今後の検討の前提条件整理（地域準備会での到達点・予算・建物）
- ・実際に企画していくうえでのポイント：おきなさんより「企画のコツ-たのしく・たたく-」他
- ・〔グループ協議〕①具体化していく企画の選定 ②「計画シート」の作成に向けて



第7回

8月

書面開催

- ・各グループから提出された計画シートの共有
- ・計画シートへのコメント

第8回

9月

書面開催

- ・計画シートへのコメントの共有
- ・グループ・担当者からの進捗状況など
- ・地域組織づくりについて

第9回

10月21日

参加：17組（18名）

- ・地域組織づくりについて
- ・中間報告について
- ・グループの進捗報告
- ・施設レイアウト（イメージ）について
- ・〔グループ協議〕企画の具体化に向けて



中間報告

11月13～14日 他

- ・第49回清和地区文化祭にて、掲示及び資料配布。2日間で約100名の方に説明。
- ・「推進室たより」に掲載し、清和地区内回覧及び市HPにて掲載（11月18日から）



第10回

11月18日

参加：16組（16名）

- ・地域組織づくりについて（設立までのイメージ 他）
- ・各計画の今後のまとめに向けて
- ・〔グループ協議〕企画の具体化に向けて



第11回

12月16日

参加：23組（25名）

- ・市長あいさつ
- ・「まとめ」について（各グループからの報告、地域組織の発足に向けて他）
- ・参加者よりひとこと

- ・地域準備会の協議は、旧秋元小学校体育館で実施した。
- ・第4回から、おきな まさひと さん（まちびと会社ビジョナリアル 共同代表）にコーディネーターとして参加いただいた。
- ・6月2日に運営チーム（いわゆる幹事会）が発足。12月まで12回のオンライン会議を実施し、地域準備会の運営などについて協議を行った。また、運営チーム内に「司会班」「組織検討班」を設け、適宜の協議を行った。
- ・第5回以降は、運営チームが、地域準備会の司会・運営を担った。

資料2 計画シート

約半年間の協議やプレ開催など経て、地域準備会終了時点での計画や検討結果をまとめた各企画の計画シートです。

企画名 清和マルシェ改め**清和てづくりマーケット**

● グループ名	飲食販売
● 概要	野菜、花類、加工食品、手作り品などを販売するマルシェ(市場) 中古品などの販売は分けて考えるべきと考えている。(てづくりマーケットは中古品も OK にしていたがやるなら別の企画として) ※既存の「清和てづくりマーケット」主催の清和公民館と協議し、地域組織発足後は主催者を移して実施することになった。
● 目的・目標	地域交流、観光客の立ち寄り(施設宣伝)、プロジェクトチームが出店することで財源の確保にもつながる。
● 実施する時期	当初は奇数月第〇日曜(年 6 回程度)という形で始めていく。要望があれば回数を増やしていく
● 場所・会場	施設屋外(雨天時は施設内)
● 運営体制	実行委員会発足(人数は多すぎず少なすぎず・・・)
● 運営主体者	実行委員会、マルシェ出店者
● 協力者	興味のある人、企画実行者
● 対象者	地域住民、立ち寄り観光客
● スタート時に必要な費用	広告を出すための費用(フライヤー) コロナ対策費用
→ 用意の見込み	なし。
● 継続に必要な費用	フライヤー印刷の費用 コロナ対策費用
● 収入見込み	出店者からの出店料。実行委員が出店をして財源を確保するのもありかと
● 採算の見込み	不明
● 連携するグループや企画	販売部門 プロモーション部門(清和てづくりマーケットはすでに Facebook が存在)
● その他特記事項	マルシェ+イベントなどコラボで更なる集客なども盛り上がる 実行委員の募集は任意団体発足後に早い段階で行い、実行委員会を行なえる状態にしたい。
● 検討する中で、困っていること、懸案事項	「評判であれば回数を増やす」としているが、規模を小さくしても回数を増やすほうがいいのか、規模が小さくなるようなら回数を変えないほうがいいのか…。 Covid-19 の状況が鎮静化しないことには開催しないほうが良いが、待たずして開催となると、対策の費用と人員が必要となる。

企画名 **キッチンカー、フードトラック招致作戦**

● グループ名	飲食販売
● 概要	キッチンカーやフードトラックを募り、まずは土日祝日、およびイベント時に出店をしてもらう。基本的には場所の提供。
● 目的・目標	常設飲食店のみでは不足しそうな外食への需要を補うとともに、キッチンカーやフードトラック経営者の拡散力を活用して、施設及び清和地区の宣伝効果を期待したい。多種の料理との相乗効果で、常設飲食店の売り上げへの期待も出来、店休日の対応も出来るようになる。一堂に会してフードフェスなどのイベント開催や清和地区の別の場所での設営ができるようになるとういと考えている。
● 実施する時期	土日祝日、施設でのイベント時、飲食休業日(ある場合)
● 場所・会場	施設屋外
● 運営体制	2～3人で登録に関する事務作業
● 運営主体者	大家的立場になるので、指定管理者にお願いしたい。
● 協力者	キッチンカー、フードトラックオーナーとのつながりがある人
● 対象者	施設利用者・近隣住民・立ち寄り観光客
● スタート時に必要な費用	雨天時対応のためのタープ(テント)購入費用
→ 用意の見込み	なし(物品が寄付などで調達できれば…)
● 継続に必要な費用	費用よりも土地
● 収入見込み	施設利用料(土日祝 5000 円/日 平日 2000 円/日)
● 採算の見込み	登録者がいれば採算あり
● 連携するグループや企画	プロモーショングループ、飲食部門
● その他特記事項	営業時間等は出店事業者に一任する
● 検討する中で、困っていること、懸案事項	オーナー様にどう知ってもらうかが最大懸案。 雨対策にタープの用意を提案しているが、それで十分なのか？

企画名 **レンタルロッカーショップ**

● グループ名	飲食販売
● 概要	教室のロッカーを活用したレンタルBOX型委託ショップ 販売のベースは手作り品(衣類・雑貨など) 古物商許可を取得しないので、中古品の取り扱いはしない。リメイクに関しては制約なし。 ロッカーを使うことで区画の統一ができる。借りた人がロッカー内の

	ディスプレイを自由にできる（返却時原状回復が条件）。 1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月単位の更新制。完全委託ではなく、借り主も定期的にメンテナンスに来てもらう。 1エリアの貸し賃（予定） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>清和地区内在住</th><th>清和地区外在住</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1ヶ月</td><td>600円</td><td>800円</td></tr> <tr> <td>3ヶ月</td><td>1,650円(550/月)</td><td>2,250円(750/月)</td></tr> <tr> <td>6ヶ月</td><td>3,000円(500/月)</td><td>3,600円(600/月)</td></tr> <tr> <td>12ヶ月</td><td>5,400円(450/月)</td><td>6,600円(550/月)</td></tr> </tbody> </table> ※大きいものの販売を希望する場合は、天面のロッカー2ブロック分を貸し出す。 売上価格の10～15%程度を手数料として考えている。 学童用文房具の購入などを設置することで、立ち寄りやすい作りにする。			清和地区内在住	清和地区外在住	1ヶ月	600円	800円	3ヶ月	1,650円(550/月)	2,250円(750/月)	6ヶ月	3,000円(500/月)	3,600円(600/月)	12ヶ月	5,400円(450/月)	6,600円(550/月)
	清和地区内在住	清和地区外在住															
1ヶ月	600円	800円															
3ヶ月	1,650円(550/月)	2,250円(750/月)															
6ヶ月	3,000円(500/月)	3,600円(600/月)															
12ヶ月	5,400円(450/月)	6,600円(550/月)															
● 目的・目標	教室で使っていたロッカーを利用することにより初期費用を抑えられ、小学校だったということを忘れないようにする。 手作り作家との交流、カルチャー教室の開始のきっかけ作り 飲食エリアのモニュメント的な位置づけになるのが目標																
● 実施する時期	飲食オープン時に																
● 場所・会場	販売エリア																
● 運営体制	任意団体が登録業務と売上精算を行い、飲食レジで販売業務を行うのが望ましい。																
● 運営主体者	任意団体で担当者を選出。																
● 協力者	募集中																
● 対象者	出店者は地域外在住も可。定期的に管理に来られる人。																
● スタート時に必要な費用	スタート前にロッカーの塗装費が必要																
→ 用意の見込み	なし（クラウドファンディング検討中）																
● 継続に必要な費用	不明																
● 収入見込み	レンタル利用者からの賃貸料と販売手数料 購買部分は収入に含めない予定																
● 採算の見込み	利用者が増えれば見込みあり。 SNS 開設などで宣伝をして、とにかく知ってもらう。																
● 連携するグループや企画	ものづくり系カルチャー教室																

イメージ写真

● その他 特記事項	オープンから 1 年程度は長期契約の場合 3 ヶ月程度の貸し賃無料を検討中。
● 検討する中で、 困っていること、懸案事項	販売物品に不備があった時の対応 奥行きがあるので、照明の工夫が必要。 ロッカー下段が床から近いため、20 センチほど高くするのが望ましいが可能か？不可能な場合、下段は使用しないことになるが、そのままにするか、何らかの形で閉じるべきか？

企画名 **井戸端カフェ** (事業者への要望)

● グループ名	飲食販売
● 概要	地域住民の外出需要に答えた「立ち寄りやすい価格帯の」「また行きたくなるメニューの」「行けば誰かに会える」飲食店 昼食をメインにしつつ、夜間営業も出来るようになれば (観光客向けのメニューは土日祝メインで) 子供(乳幼児)向けの簡単なメニュー(300 円以下)を用意することで、 外食しづらい親子などにも立ち寄りやすい形になるとよい。 店休日は客席の一部をサロンとして開放するのが望ましい。(何らかの形で飲み物くらいはあるとよい) 日替わりの和、洋(+定番)で、飲み物付きで 1000 円以下が理想 参入業態にもよるが、受注での弁当取り扱い
● 目的・目標	清和の外出不足の解消、地域住民のくつろぎと交流の場としてのきっかけ作り、施設利用者の食堂や一服の場としての機能 規格外野菜を仕入れることで、生産者の収入に協力でき、仕入れコストを下げる事も出来る。雇用も期待したい。
● 実施する時期	施設オープン日(店休日はあってもよい)
● 場所・会場	飲食エリア
● 運営体制	公募で決定した事業者が実質運営にあたる。
● 運営主体者	公募で決定した事業者
● 協力者	地域雇用をしてもらいたい
● 対象者	施設利用者、地域住民
● スタート時に 必要な費用	不明
→ 用意の見込み	業者の持ち出しが理想
● 継続に必要な 費用	一般的な飲食店に必要な費用(詳細は不明)
● 収入見込み	見込みが出るように
● 採算の見込み	見込みが出るように
● 連携するグループや企画	プロモーションチーム 農産物生産者

● その他 特記事項	業者が決まらなかったとき、撤退を希望したときは、複数の飲食業者と提携するシェアキッチンや地元有志での運営も検討する
● 検討する中で、 困っていること、 懸案事項	公募の際、条件を羅列してもよいのか？ 夜間営業を行う事になった場合の行政施設との兼ね合い。 食材の仕入れは生産者からなるべく仕入れるようにして欲しいが、仕組みづくりが思いつかない。

企画名 **君津の朝飯**

● グループ名	観光・文化・歴史グループ
● 概要	企画担当者の意向により省略
● 目的・目標	
● 実施する時期	
● 場所・会場	
● 運営体制	
● 運営主体者	
● 協力者	
● 対象者	
● スタート時に 必要な費用	
→ 用意の見込み	
● 継続に必要な 費用	
● 収入見込み	
● 採算の見込み	
● 連携するグループや企画	
● その他 特記事項	
● 検討する中で、 困っていること、 懸案事項	

企画名 **鹿野山サイクリングの拠点**

● グループ名	観光・文化・歴史グループ
● 概要	サイクリストはトレーニングの一環で坂を上ることから、すでに多くのサイクリストが鹿野山を中心に南房総を走っています。 旧秋元小の目の前には南房総の中ではトップクラスである難坂があり、旧秋元小がサイクリストにとって魅力のある拠点（駐車場、洗車、休憩）として整備されればサイクリストは集まると思われます。 また「坂」を観光資源と考えればマラソンランナーやトレイルランナーにとっても魅力的な拠点としても拡張整備することで広がりが出てきます。
● 目的・目標	人を呼ぶ、人流を作る、サイクリストの拠点として近隣県へ周知しサイクリストを呼び込む
● 実施する時期	オープン後
● 場所・会場	屋内ではなくても。サイクルラック（自転車置き）は必要。
● 運営体制	どのような機能を持たせるかで体制は決まります。 最低限わたし一人でもできますが、近在の方の協力を得たい。
● 運営主体者	ボースークライマーズ（運営：株式会社チューン） https://bosoc.club/
● 協力者	イベント開催時にはおおぜいの協力者、応援者を動員したい。
● 対象者	？
● スタート時に必要な費用	屋外の場合、テント、テーブル&チェア、電源ケーブル、サイクルラック程度の備品
→ 用意の見込み	市が対応できないようであれば運営主体で整備予定
● 継続に必要な費用	光熱水道代等にかかる費用
● 収入見込み	拠点としては人流を増やすことが目的であるため赤字。 イベント開催による収入。別途「君津の朝飯」が収入源。
● 採算の見込み	これで大きな収入は考えていない。 さまざまな連携により採算を合わせていく予定。
● 連携するグループや企画	君津の朝飯企画（自前企画） 近在の方々
● その他特記事項	すでにサイクリストのグループを持っている 千葉県最大級のサイクルイベント「ツールドちば」の運営にもかかわっている

企画名 **清和の伝統・文化ボードゲーム制作**

● グループ名	観光・文化・歴史グループ
● 概要	ボードゲーム制作塾（仮） 清和地区の小中学生の参加を募り、塾形式でボードゲームを制作。 ボードゲーム内容は、清和の伝統や文化、清和に伝わる昔話を題材にしたボードゲームを制作し、販売する。
● 目的・目標	清和の伝統・文化を継承していく。そのもの自体を継がなくても、そういった事柄があったことを地元の子供たち、全国の方にボードゲームを通して知ってもらう。
● 実施する時期	未定
● 場所・会場	旧秋元小学校の共有スペース（会議室等）。
● 運営体制	塾形式で行う。生徒人数については上限なし。
● 運営主体者	だがしカフェ tamaribu が運営する「ボードゲーム制作塾（仮）」。
● 協力者	地元の伝統・文化・昔話について知識のある方に、 臨時講師として講演を行っていただく。
● 対象者	清和地区の小中学生。年齢（学年）については要検討。 （多くのボードゲームは対象年齢が10歳前後となるため、 小学4年生～中学3年生を予定）
● スタート時に必要な費用	会場使用料のみ。
→ 用意の見込み	だがしカフェ tamaribu の立替。（ボードゲームの販売利益で回収する予定）
● 継続に必要な費用	ボードゲーム制作費。
● 収入見込み	制作まではクラウドファンディングを実施予定。 その後は販売した収益で運営を予定。
● 採算の見込み	1～2年後に採算が取れる見込み。
● 連携するグループや企画	多世代交流…地域の有識者と子ども達の交流を図る ものづくり…清和ならではのボードゲームを制作。 プロモーション…清和の魅力をボードゲームを通して発信。
● その他特記事項	実施時期については未定。 ボードゲームの制作を1度経験してから開塾したいと考えている。
● 検討する中で、困っていること、懸案事項	・生徒が集まるか。 ・販路について →ゲームマーケットに出店 →ボードゲーム販売サイトへ掲載 →ボードゲームカフェへ設置を交渉

企画名 **清和の観光マップ**

● グループ名	観光・文化・歴史グループ
● 概要	清和地区の拠点となる秋元小学校の一教室の黒板に手書きのマップを設置する。 また、観光マップ（携帯版）を制作し、清和の観光情報を発信する。 おすすめスポットや文化紹介などのために写真を募集し、手元にアルバムを置くことでより清和を具体的に知ってもらう。
● 目的・目標	清和の観光情報の発信。 「ここにすれば清和がわかる」といえるようなマップ作り。
● 実施する時期	オープンに向け制作を予定。
● 場所・会場	一教室の黒板（できれば目につきやすい3年生の教室）
● 運営体制	制作委員会等を設置。
● 運営主体者	委員会が企画・運営を行うが、地元の学生・住人などの人の手でマップを描いてもらう。卒業制作での依頼も考えている。
● 協力者	地元住人の有志
● 対象者	地元在住者・観光客
● スタート時に必要な費用	黒板に描くためのチョークなどの画材費用
● 収入見込み	広告掲載希望者がいた場合掲載料を徴収
● 採算の見込み	広告掲載希望者がいる場合収入がある可能性はあるが、基本的には有志のため採算見込みは無し。
● 連携するグループや企画	プロモーション…清和の魅力を発信する拠点となる。
● 検討する中で、困っていること、懸案事項	手書きでマップを作成するため、協力者を探す必要がある。

企画名 **無形民俗文化財の映像化及び展示**

● グループ名	観光・文化・歴史グループ
● 概要	清和地区に現存する6つの無形民俗文化財について、解説を含めた映像データを作成し、モニター等で上映を行うとともに、各種関連資料の展示を行う。
● 目的・目標	無形民俗文化財の保護・継承
● 実施する時期	通年
● 場所・会場	旧秋元小複合施設
● 運営体制	今後検討
● 運営主体者	今後検討
● 協力者	無形民俗文化財保存会、清和小の協力を得たい。

● 対象者	地区内外の方
● スタート時に必要な費用	未定
● 継続に必要な費用	未定
● 収入見込み	なし
● 採算の見込み	なし
● 連携するグループや企画	プロモーショングループ
● 検討する中で、困っていること、懸案事項	少子高齢化による後継者不足で、無形民俗文化財の維持が困難になってきている。清和小の理解・協力を得て、無形民俗文化財の継承を図りたい。

企画名 **地域で育む放課後こども教室**

● グループ名	健康福祉、多世代交流、学び、こども
● 概要	放課後、こどもを集めて宿題をした後、こども達と遊ぶ。地域の方が講師となり、こども教室を行う。 働く親のための学童という役割も重要だが、帰宅後友達と遊ぶのにも送迎が必要なため、送迎できず家の中に閉じこもりがちな清和地区の小学生全てに、こども同士で遊んだり、地域の方と関わりを持つ機会となる場を提供する。
● 目的・目標	・多世代交流による地域の活性化 ・放課後のこどもの居場所の確保 ・地域の方の見守りや自然の中でこどもをたくましく育てる ※こどもが家にこもってゲームやネットに関わってしまう時間を減らす
● 実施する時期	・平日毎日 ・長期休暇 ・休日のイベント開催
● 場所・会場	旧秋元小学校 令和5年4月までは、放課後は送迎の問題を考え、清和小を中心に活動するが実績を重ねて、令和5年4月からは、旧秋元小をスクールバスの停留所とすることで送迎の問題を解決したい。 学校内だけでなく、地域でこどもと関わるために、旧秋元小での開催にこだわりたい。
● 運営主体者	主体者は現在 SCP（清和コミュニティパーク）として活動している者を中心に
● 協力者	こども見守り隊等として登録してもらった地域の者 ※現在、SCPに協力者として登録してくれている人数9人 活動が広まることで、さらに登録者は増えると期待できる
● 対象者	清和地区に居住する人 週末のイベント等は清和地区以外の人参加も認める

● スタート時に必要な費用	講師料・こどもを見守る人への人件費
→ 用意の見込み	上記人件費については市の補助あり、ただし、永久にもらえるわけではない
● 収入見込み	参加費
● 採算の見込み	参加費だけで採算を合わせるのは難しい、他の黒字事業と組み合わせる。又は、独自のイベントで収入を得る（バザー等） 〔参考試算〕 こども見守り謝礼 時間単価 700 円 2 名 16 時～18 時 こども参加費 100 円 とした場合 支出 700 円×2H×2 人×20 日×12 か月＝672,000 円 収入 100 円×10 人×20 日×12 か月＝240,000 円 ▲約 440,000 円（年間） ※10 人は、過去に行ったこども教室の参加人数を参考とした。定期的な活動により参加者を増やしたり、参加費を検討することで、赤字を少なくすることは可能と考える。
● 連携するグループや企画	現在なし
● その他特記事項	◎地域の需要について 清和小に通う世帯のうち、1 割強は毎日利用したい、5 割程度が毎日ではないが活用したいと回答。また、これから清和に他地域からの移住者を増やそうとした場合、学童的な事業は必須となる。 ◎なぜ学童ではダメなのか 現在君津市内の学童は 1 人あたりひと月の利用料が 10,000 円程度かかる。清和地区の家庭状況を考えると、ひと月 10,000 円の利用料をかけてまでこどもを学童に預けたいという需要は高くないため、学童を立ち上げて採算が合わない。 また、なるべく多くの子ども達に利用してもらえないと、活動する意味が薄くなってしまう。

企画名 清和おしゃべりサロン・郷の教室

● グループ名	健康福祉、多世代交流、学び、こども
● 概要	・教室を使い、おしゃべりサロンを実施。 ・おしゃべりサロンで話題になったことや、講師になってみたい方を中心に地域の方が講師となり、カルチャー教室を開催。 ・毎月単位で時間割を作る。 ・ゆくゆくは、毎日行けば何かの教室が開かれている状況にしたい。
● 目的・目標	・多世代交流による地域の活性化 ・家にひきこもることを防いで健康寿命を伸ばす

	・講師として、生徒として参加することで、いきがい、やりがいを増やす
● 実施する時期	・毎日 ・休日のイベント開催
● 場所・会場	旧秋元小学校
● 運営主体者	主体者は現在 SCP（清和コミュニティパーク）として活動している者を 中心に
● 協力者	こども見守り隊等として登録してもらった地域の者 ※現在、SCP に協力者として登録してくれている方 9人 講師希望で登録してくれている方 3人 活動が広まることで、さらに登録者は増えると期待できる
● 対象者	清和地区に居住する人 週末のイベント等は清和地区以外の人への参加も認める
● スタート時に 必要な費用	講師料・こどもを見守る人への人件費
→ 用意の見込み	事前の費用は無く、人件費が主なので、参加費でまかなうことを目標 にする
● 収入見込み	参加費
● 採算の見込み	利用料 100円／回 講師謝礼 1,000円／回 参加費用 100円／回 3,000円／月（材料費等別） ※月額定額を導入することで、来ればくるほどお得感を出す。 なるべく小学校に来る回数を増やせるように。 他、希望者は時間を有料で貸し出すことで、各自の教室が開けるよう にもする。
● 連携するグル ープや企画	現在なし
● その他 特記事項	現在、すでに行われている公民館でのサークル活動、健康体操、ヨガ 教室なども仲間に入れられないか、相談したい。

企画名 清和ものづくりマイスター

● グループ名	オフィス・ものづくり
● 概要	清和在住者のものづくり（ジャンル不問）の人たちを登録集約し、講座 依頼があった時に紹介をする。ゆくゆくは短期、長期のイベント、ワー クショップ、カルチャー教室を行う。 ※認定制度ではなく、人材登録制度
● 目的・目標	施設利用の活性化 「ものづくりの郷 清和」というブランドづくり 清和地区内の人材活用・生きがい支援・文化継承・後継者作り

登録者募集(イメージ)

こんなこと始めます

清和ものづくりマイスター登録者募集

清和ものづくりマイスターとは・・・

清和在住の「技術を持っている人」を登録し、その技術を発揮していただくこと、及び後継者の育成などに尽力していただける方を募集する仕組みです。

- ・活動内容はご自身で決められます。
- ・登録に関しての条件は一切ありません。

皆さんと作っていく清和地区独自の登録者制度です。

例えば・・・

「趣味でパン作りをしている」 「しめ飾りは毎年自作」
「ちりめん細工を趣味でやっていて、人に教えられる」
「竹かごを自分で作って使っていた」 「趣味の資格を取った」
「木工細工を普及させたい」 「仕事で培った技術を今後も活かしたい」
「そば打ち有段者になった」 などなど

すべて登録できます。

登録したらどうなる？

新施設での活動のお手伝いや個人の問い合わせにご協力いただきます(清和地区内にて)。

販売を希望する方には、新施設内に設置される予定の販売スペースでの出品や、企画されている清和マルシェ(仮称)での出店のご案内をいたします。

もちろん、いずれも無理のない範囲で構いません。活動は自由です。

● 実施する時期	登録に関しては窓口ができたらずぐにでも。利活用開始に関しては不明
● 場所・会場	郷の図工室・施設利用・屋外活動
● 運営体制	登録管理者として一人から二人
● 運営主体者	検討中
● 協力者	木工・竹・鹿角工作をはじめ、手芸・郷土料理・農作物など何かを作ることを指導できる人(資格の有無は問わない)
● 対象者	何かしらのものづくりがしたい人、何かしらのものづくりを企画したい人
● スタート時に必要な費用	紙代程度
→ 用意の見込み	不明なので現状はなし
● 継続に必要な費用	不明(発生しない?)
● 収入見込み	収入は考えていない(現段階)が、地区外での情報の利活用に関しては紹介料などを徴収する方法も検討中
● 採算の見込み	採算は考えていない。(現段階)
● 連携するグループや企画	農林業、歴史文化歴史、多世代交流

● その他 特記事項	登録者名簿の見本、登録用紙、募集チラシ(制作中)を別添付
● 検討する中で、 困っていること、懸案事項	登録方法、運用方法 登録制度そのものでは収入などは発生しないが、人材活用＝収入を考 えるべきなのか？(施設として得られる収入として現状は施設利用料) (登録者には有償、無償の確認はする予定)

企画名 キミツノキ プロジェクト

● グループ名	オフィス・ものづくり
● 概要	林業体験と切り倒した木材を活用した製品開発。ブランディング。
● 目的・目標	林業体験：山の手入れが行き届かないことで山の荒廃が進み災害、有害鳥獣の問題に繋がっている。間伐体験を通して山の状況を伝え・見てもらうことで、清和の山林への理解を深めてもらう。山の保全活動につなげる。林業に関心を持つ若い世代の人を増やす。 間伐材の活用：清和の山の木を、郷の図工室の機能を使い付加価値を付けて売り出すことで、山の価値の向上と地域に新たな経済と雇用を生み出す。また、販売するモノを通して購入者と清和とのつながりを生み出す。 ブランディング：清和の木をブランディングし市の特産化を目指す。清和や市のPRにつなげる。
● 実施する時期	実施中。 頻度：林業体験＝年数回 間伐材の活用＝常時
● 場所・会場	清和地区内の山林
● 運営体制	林業従事者＋数名
● 運営主体者	ミライキカク
● 協力者	伐採機材：森林組合？ 製材機材：鹿野山のキリンハウスにて製材の協力を依頼？
● 対象者	市内外の子どもや大人。
● スタート時に 必要な費用	伐採するための機器、燃料代
→ 用意の見込み	手配済み
● 継続に必要な 費用	同上
● 収入見込み	参加費や販売利益で回収
● 採算の見込み	採算が取れる参加費、販売価格を設定
● 連携するグル ープや企画	林業グループと連動できると良い
● 検討する中で、 困っていること、懸案事項	郷の図工室に導入される機器により製品が大きく変わってくる。 例えば比較的小型な機器（木材のカットや研磨の機器。レーザーカッター等）の導入であれば、お皿やアクセサリなどの小物類に限られる。 大型の機器（ショップボット等）を入れれば、テーブルや椅子、遊具、

	タイニーハウス等、大型なものを作ることができるので、機器の導入を検討していただきたい。
--	---

企画名 清和 ICT クラブ

● グループ名	オフィス・ものづくり
● 概要	秋元小を会場に子ども向けに ICT 教室を実施
● 目的・目標	子ども向けの ICT 教室を実施することで、郷の図工室の利用促進と将来の ICT 人材の育成を図る。子ども向けの ICT 教室ではあるが、これを契機に大人がつながりを作る。作品作成のゴールを、地域や生活課題を解決するもの、地域産業を活性化するものなどに設定することで、地域に還元する。
● 実施する時期	いまから FAB 機能を必要としないプログラミング教室 オープン時～ プログラミング+FAB で Iot 作品まで発展させる 頻度：月 1 回程度
● 場所・会場	秋元小 郷の図工室 他
● 運営体制	地域 ICT クラブ運営委員会
● 運営主体者	ミライキカク
● 協力者	興味がある方数名。工業系の学生に協力を得たい。
● 対象者	主に地区内の小中学制＋希望する市内の小中学生
● スタート時に必要な費用	タブレットや PC。電子基板等の道具。
● 収入見込み	参加費。寄付。補助金。
● 採算の見込み	参加費等で賄う
● その他特記事項	これを契機に君津市内の学校で実施されるプログラミングの授業で郷の図工室を利用してもらったり、人材を派遣することで君津市の学校教育での ICT レベルを向上させ、君津の教育の特色として売り出す。それにより子育て世代を中心に清和地区、市内への転入者増を目指す。

企画名 郷の図工室を活用した起業やブランディング、アーティスト活動の支援

● グループ名	オフィス・ものづくり
● 概要	郷の図工室を活用したものづくりのアイデアを形にするヒントやものづくりを行う人の交流、起業を促すための場を創出。 →イベント？
● 目的・目標	ものづくりを通して地域社会の経済振興に寄与する次世代の若手の活躍を支援する
● 実施する時期	オープン時

	頻度：シーズン毎、不定期
● 場所・会場	郷の図工室
● 運営体制	指定管理者
● 運営主体者	指定管理者
● 協力者	起業支援している団体など
● 対象者	地方で仕事したい方やフリーランスで働く方、副業を考えている方など
● スタート時に必要な費用	当日使う材料費用
→ 用意の見込み	設備と機材、基本的な材料
● 継続に必要な費用	材料費、人件費等
● 収入見込み	参加費
● 採算の見込み	変化の時代だからこそ自分で「ものを作る」こと自体に需要があり、更に同じ志を持つ仲間と共同空間で制作する過程に意味がある。里山に来るだけの意味を考えパッケージングを行い提供する。
● その他特記事項	創業支援センターや商工会議所との連携等

企画名 **共に創る郷の図工室とアートフィールド**

● グループ名	オフィス・ものづくり
● 概要	・地域住民及び利用者となり得る方、地域に親しみがある方など多世代が集う親しみある居場所を創る為に図工室の設備（机や椅子、装飾など）を考えて、計って、切って、汗を流して組み立てるイベント開催。 ・アートフィールドの制作などを通して進化する・変化する遊び場を創る。美大生・工業大生やアーティスト、事業者、地域住民が協力して創り出す。
● 目的・目標	・設備をただ設置した空間にするのではなく、空間自体に物語を生み出す ・「モノ」を作り「人」が使うことで地域に循環が生まれるアートフィールドを目指す（〇〇PARK）。※校庭の遊具や保育園のおもちゃなども制作可能
● 実施する時期	オープン前（プレオープン時など） 頻度：オープン前、オープン後
● 場所・会場	郷の図工室
● 運営体制	指定管理者
● 運営主体者	指定管理者
● 協力者	地域、施設利用者、事業者、大学生、アーティストなど
● 対象者	地域住民、地域に縁がある方、利用見込み者

● スタート時に必要な費用	ショップボットなどの工作機械、材料費、人件費、デザイン費
→ 用意の見込み	不明
● 継続に必要な費用	材料費
● 収入見込み	参加費
● その他特記事項	君津市（清和）の木材で作れると尚意味が生まれる
● 検討する中で、困っていること、懸案事項	オープン前の場合、導入する機器がどの段階で設置されるかによる。 また、導入される機器により作れるものの範囲が変わってしまうが、今回想定している制作物は比較的大型のものなので、ショップボット等の大型 CNC ルータの導入をお願いしたい。

企画名 まちの図書館

● グループ名	オフィス・ものづくり
● 概要	自分が好きな本や物事を 30cm×30cm の本棚スペースで紹介できる。本を貸し借りすることでまちに足を運ぶきっかけになる
● 目的・目標	足を運んだ人に向けて自分を PR し、魅力あふれる人材を紹介できる空間にし、本を通した共通の嗜好から人を知る
● 実施する時期	オープン後 頻度：常に
● 場所・会場	コワーキングスペース
● 運営体制	不明
● 運営主体者	不明
● 協力者	不明
● 対象者	地域の活力ある人材
● スタート時に必要な費用	本棚の制作費
● 継続に必要な費用	管理する人を置くなれば人件費
● 収入見込み	本棚スペースを利用したい人から月額 2,000 円を徴収
● 採算の見込み	不明
● その他特記事項	月 1 回の交流会などでスペース利用者と図書利用者の接点を創る

企画名 **わくわく体験(稲作・畑作)**

● グループ名	農林業
● 概要	【稲作】 ・年間を通してもち米、古代米の栽培を体験する。 ・餅つき体験やお飾り製作をする。 ・もち米の余剰米は販売を行い運営資金とする。 【畑作】 ・一区画(15 m²)で年間を通し、野菜作りを体験する。 ・使用農具は基本的に持参とする。
● 目的・目標	①農業体験から栽培や収穫の喜びを感じるとともに、農業に対する親しみを持つ。 ②親子での共同作業を通して、子育て(人間形成)の一助とする。 ③清和の人・自然と触れ合う中で、清和の良さを感じ取る。 ④近隣の遊休地を活用し、農地の荒廃を防ぐ。
● 実施する時期	【稲作】4月～12月 令和4年2月募集 4月より実施 (もち米) 種まき→田植え→水田管理→稲刈り→稲架掛け→脱穀→粃摺り→精米→収穫祭(販売・餅つき) (古代米) 種まき→田植え→水田管理→稲刈り→乾燥→収穫祭(お飾りづくり) 【畑作】通年 令和5年3月募集 4月用地整備及び区画作業 5月より実施 季節に応じた野菜を栽培・管理・収穫をする。
● 場所・会場	【稲作】旧秋元小学校周辺水田(16a)確保済み 【畑作】旧秋元小学校校庭 15 m²×15 区画 225 m²を確保希望
● 運営体制	農林業グループを及び支援者にて栽培指導及び管理を行う。
● 運営主体者	当初は農林業グループが行うが、徐々に参加者を組織化して移行する。
● 協力者	協力者募集 現在、外箕輪在住者2名協力の申し出あり
● 対象者	プロモーション等にて地域内外問わず募集
● スタート時に必要な費用	種もみ代、肥料代、機械作業代として50,000円程の経費を要する。
→ 用意の見込み	※参加費 稲作 5,000円×20組 100,000円 畑作 5,000円×15組 75,000円 参加費から、当面の経費は補填可能
● 継続に必要な費用	50,000円程度
● 収入見込み	もち米の販売見込み 120,000円(15,000円×8俵)

	参加費見込み 稲作・畑作合計 175,000 円
● 採算の見込み	【稲作経費】116,395 円 種もみ 4,800 円 種粃消毒液 712 円 培土 2,288 円 耕起 9,920 円 代かき 20,800 円 肥料 8,784 円 除草剤 3,071 円 空中散布 4,160 円 刈取脱穀 28,160 円 乾燥調製 31,900 円 コメ袋 1,800 円 【畑作経費】18,260 円 防草シート 4,600 円 シート止め 2,500 円 杭 6,160 円 有機肥料 5,000 円 【保険】17,500 円 (500 円×35 人) 【活動協力費】50,000 円 (5,000 円×10 人) 総収入 295,000 円－総経費 202,155 円＝92,845 円 92,845 円は次年度の初期経費と農具の購入に使用
● 連携するグループや企画	プロモーション(対象者の募集)、飲食・販売(もち米の販売依頼)、オフィス・ものづくり(お飾り製作)
● その他特記事項	・参加者の保険代は参加費の一部を充てる。 ・参加者の中からリーダーを育成し、将来的には主体者としての活動を望む。
● 検討する中で、困っていること、懸案事項	・作業後の更衣室・シャワールームや農具の保管施設が必要 ・主体者側の保険代 ・畑作で必要な水の確保(水道水が可能か) ・現在校庭に出ている茶水の掘り抜き井戸を活用していきたいが、茶水を貯めたり足洗をする設備が必要

企画名 トラック市

● グループ名	農林業
● 概要	・複合施設の駐車場及びグラウンド内において、農産物をトラックにて販売する。 ※販売については個々の出店者の責任による。 ・将来的には販売品目を多角化していく。
● 目的・目標	・賑わいを創出する。 ・清和地区農産物の販売を通して、清和の農業を活性化する。 ・清和の野菜等を地域外に広めるとともに、特産物の開発に努める。
● 実施する時期	・現段階ではイベントでの開催を考えているが、各参加者の反響を見て定期化、日常化して行きたい。 ※清和公民館のイベント等を把握して年間スケジュールを作成し、出品農産物を計画的に栽培する必要がある。

● 場所・会場	旧秋元小学校施設及びグラウンド(軽トラックの配置等に工夫が必要)
● 運営体制	・販売参加者が実行委員会を組織して運営できるまでは、農林業グループが運営する。
● 運営主体者	当初農林業グループ、販売参加者に移行
● 協力者	・運営に携われる人や生産者を広く公募 ・出店軽トラック5台程度を揃え、トラック市としての形態を整えたい。
● スタート時に必要な費用	・宣伝用のぼりやカラーコーン等の購入費用として2万円 ・広報のための広告費は出店代1台500円を徴収した中で賄う。 ・購買者数により交通整理依頼の費用が必要になる可能性もある。
● 継続に必要な費用	・広告費2,000円
● 収入見込み	・出店代500円×出店数
● 採算の見込み	なし
● 連携するグループや企画	プロモーション、飲食・販売、手づくりマーケットとの連携
● その他特記事項	・トラック市のルール作り
● 検討する中で、困っていること、懸案事項	・販売希望者の把握と要請。 ・天候不順時(風雨)による販売方法や中止連絡等の対応。 ・トラック市を拡大するにあたり、食品加工者の出店要請。 ・トラック市に適した商品の開発や要請 例 メダカの販売等 ・生産者名簿の作成と連絡・調整係が必要。

企画名 清和空き家バンク

● グループ名	移住促進・空き家利用
● 概要	空き家情報を積極的に収集、データ化し、移住希望者へ情報提供を行う仕組みを構築する。 情報の収集にあたっては、各自治会長及び行政センターの協力を得て実施し、空き家の所有者から、今後の活用に係る意向や、売買または賃貸における注意事項等を調査し、詳細な物件データを作成する。
● 目的・目標	清和地区への移住希望者に対して、生活な情報を提供することにより、移住促進及び地域の活性化を図る。
● 実施する時期	通年
● 場所・会場	旧秋元小施設
● 運営体制	今後検討する。
● 運営主体者	今後検討する。
● 協力者	個人情報を取り扱うため、清和行政センターと各自治会長等地域団体の協力を得たい。
● 対象者	清和地区内の住宅及び住宅と一体となった宅地、農地等

● スタート時に必要な費用	今後検討する。
● 継続に必要な費用	今後検討する。
● 収入見込み	現段階では不明。
● 採算の見込み	現段階では不明。
● 連携するグループや企画	プロモーション、農林業
● その他特記事項	物件の取扱いにおいて、不動産登録業等の資格が必要か。

資料 清和空き家バンク管理カード(イメージ)

清和空き家バンク管理カード			
空き家所在地	君津市		
所有者	氏名	連絡先	
利用状況	☐ 放置()年	☐ たまに利用	☐ その他
管理者	氏名	連絡先	
連絡先	氏名	連絡先	
連絡窓口 (情報提供者)	氏名	連絡先	
希望する事項	☐ 賃貸 ☐ 売却 ☐ 検討中		
日付	経過		
. .			
. .			
. .			
. .			
. .			
. .			
. .			

企画名 **移住コンシェルジュ**

● グループ名	移住促進・空き家利用
● 概要	空き家を売りたい人、貸したい人と、空き家を買いたい人、借りたい人とのマッチングを行う。 移住希望者から申し込みを受けたら、それに適した物件をピックアップ

	プし、希望物件や、地域の行政施設、金融機関、商業施設等を案内し、地域のイメージをつかんでもらう。居住後も、地域住民との交流をお手伝いするなど、ケアを行う。
● 目的・目標	地域への移住者の増加を図り、地域の活性化を図る。
● 実施する時期	通年（随時）
● 場所・会場	旧秋元小施設を受付場所（拠点）とする。
● 運営体制	登録制とし、様々な年代や各地区に対応できる方を希望する。
● 運営主体者	今後検討する。
● 協力者	居住後の地域住民との交流にかかわってくれる人
● 対象者	県内外または清和地区以外の住民
● スタート時に必要な費用	コンシェルジュの活動費（ガソリン代等）
● 継続に必要な費用	現段階では不明。
● 収入見込み	現段階では不明。
● 採算の見込み	現段階では不明。
● 連携するグループや企画	プロモーション

企画名 田舎暮らし宿泊体験

● グループ名	移住促進・空き家利用
● 概要	空き家等を活用した宿泊体験の仕組みを構築する。 自治会長等を通じて、空き家情報を収集、持ち主から貸すための各種条件を聴取し、物件ごとのデータを取りまとめる。 可能であれば、秋元地区及び三島地区に各1件物件を確保し、農林業や観光などの体験を行う事業や飲食業者等と連携してプロジェクトを展開する。
● 目的・目標	清和に滞在し、農林業や観光、歴史等の体験を通じて、自然や人情など地域の魅力を知ってもらうことを目的とする。まずは清和に興味を持ってもらい、清和のファンになってもらう。
● 実施する時期	通年（随時）
● 場所・会場	秋元地区及び三島地区に各1件を予定。
● 運営体制	今後検討する。
● 運営主体者	今後検討する。
● 協力者	農林業や観光などの体験や飲食を提供する業者。空き家物件の情報収集に際しては、各自治会長等の協力をいただきたい。
● 対象者	県内外全ての方を対象とする。
● スタート時に	今後検討する。

必要な費用	
● 継続に必要な費用	今後検討する。
● 収入見込み	利用者から参加負担金
● 採算の見込み	今後検討する。
● 連携するグループや企画	農林業、プロモーション
● その他 特記事項	ホームステイや自治会館等の利用も考えてはどうか。

資料3 地域組織立ち上げに向けて

(1) 設立趣意書

設立趣意書

1 趣旨

私たちの住む清和地区は、房総丘陵の魅力あふれる自然や歴史文化に恵まれ、人々は心豊かに暮らしてきました。しかし近年は急激な人口減少と高齢化が進んでいる、市内で最も顕著な地域となっています。

これに伴い、日常の暮らしに様々な支障が生じ、また学校再編や公共施設の老朽化など大きな課題となってきました。

このような現状に鑑み、平成 29・30 年度に市主催の「清和地区公共施設ワークショップ」が開催され、世代を超えた多くの住民が参加し清和の将来をどうしたらよいか積極的な意見交換が行われました。

その後、市から使われなくなった旧秋元小学校を公民館・行政センター・保育園とともに一部の空間を地域住民の活動拠点として活用する複合施設構想が発表され、これを受け令和 3 年 3 月に「旧秋元小学校複合整備地域準備会」（以下、地域準備会）が発足しました。

この地域準備会は、地域活性化に向けた取り組みを具体化し、その運営を考えていく組織で、地域団体代表者、地区住民有志、市内外の NPO 法人や民間事業者（合計 36 組 42 名）が参加し様々な協議が行われてきました。

その結果、地域住民の親睦を図り、自主的な共同事業によって良好な地域社会の維持及び形成を図るとともに、地域資源を生かし持続可能で活力ある住みよい地域づくりに資することを目的とした新たな地域活動組織を設立することが最適であると考えました。

新たな地域活動組織の名称は「(仮称)コミュニティ清和」とし、地域全体の情報発信を含めた総務的な活動、各種の自主企画事業、地域団体または個人による企画のサポートの 3 つを主な取り組みとし、組織の利益だけでなく「地域全体」の利益につながる仕組みづくりに取り組んでいくことを基本に計画を進めています。

この度、計画実現の中心組織となる「(仮称)コミュニティ清和」設立に向け具体的作業に取り組む発起人会を立ち上げました。

地域の皆様におかれましては、趣旨をご理解され「(仮称)コミュニティ清和」の設立及び今後の活動につきましてご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ここに活動支援のため別添のとおり「(仮称)コミュニティ清和」会員を募集させていただきますので多くの皆様の参加をお待ちしております。

2 これまでの経緯及び計画

令和 3 年 3 月	市主催の「旧秋元小学校複合整備地域準備会」が発足
9 月	地域準備会内に設置された「運営チーム」（幹事会）より、組織設立についての提案がなされた
11 月	地域準備会中間報告において、組織設立の方向性を地域に提示
12 月	地域準備会にて発起人会発足
令和 4 年 1 月	清和地区内に会員募集
4 月	「(仮称)コミュニティ清和」の設立総会
設立以降	・令和 5 年度からの活動に向けたプレ実施と諸事業課題の洗い出し ・今後の法人化に向けた準備

令和 4 年 1 月 20 日

(仮称) コミュニティ清和 発起人会

(2) 規約(案)-抜粋-

規 約(案)-抜粋-

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、コミュニティ清和（以下「本会」という。）と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は、千葉県君津市〇〇〇〇〇番地に置く。

(目的)

第3条 本会は、地域住民の親睦を図り、自主的な共同事業によって良好な地域社会の維持及び形成を図るとともに、地域との連携を進め、地域資源を生かし、持続可能で活力ある住みよい地域づくり、暮らしづくりの実現に資することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 公共施設の維持管理運営等に関する受託業務
- (2) 農畜産物、林産物、水産物及び手工芸品等の地域特産物の生産・販売に関する業務
- (3) 食料品及び日用雑貨品、飲料水、酒類の販売に関する業務
- (4) 高齢者支援及び子育て支援に関する業務
- (5) 園芸用樹木、草木類、花卉類及び園芸用材料の販売に関する業務
- (6) 乳製品、菓子類、めん類の製造・加工・販売及び卸売りに関する業務
- (7) 惣菜等加工品の製造及び販売に関する業務
- (8) 飲食店の営業
- (9) イベントの企画及び実施に関する業務
- (10) 地域振興のための交流事業や会議・研修・展示等の施設貸出しに関する業務
- (11) 特定農地貸付及び農業体験を目的とする農園の運営・管理に関する業務
- (12) 飲食及び販売を目的とした売場施設の賃貸に関する業務
- (13) 観光振興及び案内並びに道路案内に関する業務
- (14) 困りごと請負サービスに関する業務
- (15) 空き家対策及び移住促進に関する業務
- (16) 移動手段の確保に関する業務
- (17) 環境の保全に関する業務
- (18) 前各号に掲げる地域活動を行う個人及び団体の運営又は活動支援に関する業務
- (19) 前各号に附帯する一切の業務

第2章 会 員

(会員)

第5条 本会の会員は、第3条に定める目的に賛同する者とする。

(入会)

第6条 本会に入会しようとする者は、入会申込書を会長に提出し、役員会の承認を得るものとする。

(会費)

第7条 会員は、本会の目的を達成するため、それに必要な経費を支払う義務を負う。

2 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(退会等)

第8条 会員が次の各号の一に該当する場合には退会したものとする。

(1) 本人より退会届が会長に提出された場合

(2) 会員が死亡し、又は失踪宣告を受けたときは、その資格を喪失する。

2 長期にわたる会費の不払いなど会員としての著しい違反等があった場合には、役員会の議決を経て資格を停止するものとする。

第6章 資産及び会計

(資産の構成)

第32条 本会の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

(1) 財産目録記載の資産

(2) 入会金及び会費

(3) 寄付金品

(4) 対価性の事業から得られる事業収入

(5) 資産から生じる収入

(6) その他の収入

(会計年度)

第38条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7章 規約の変更及び解散

(残余財産の処分)

第41条 本会の解散のときに有する財産は、総会において出席した会員の3分の2以上の議決を得て、本会と類似の目的を有する団体に寄付するものとする。